

病態薬物治療学C (Pharmaco-Therapeutics C)					担当教員
					教授 秋葉 聡
					講師 石原 慶一
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
薬学専門教育（講義）	4年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

病態薬物治療学は、疾患の特徴や個々の患者の病態に基づいた薬物治療に携わるために必須となる知識を学ぶ科目である。本科目では、疾患の原因・病態や治療薬の作用を生化学的・生理学的に捉え、臨床検査値の変動と病態との関連性や、治療薬の選択・使用上の配慮などについて学習する。病態薬物治療学Cでは、内分泌系疾患と血液・造血器の疾患を中心に概説する。

【授業の一般目標】

薬物治療に携わるための知識と思考力を身につけるために、疾患の原因・病態・臨床検査値・治療薬に関する基礎的な概念や捉え方を習得する。

【準備学習(予習・復習)】

事前に、血球細胞の種類や造血機構、内分泌系（ホルモンの作用）、骨髄や内分泌器官の構造・機能について、生化学や生理学で学んだ関連知識を復習してから講義に臨むことを推奨します。

講義中に配布プリントや雑記用のノートなどに書き溜めたメモなどを、講義後に別のノートに整理・まとめ直すことを推奨します。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	内分泌性疾患	石原	代表的な内分泌疾患を挙げ、概説できる。	C14-(3)-④-1,5
2	内分泌性疾患	石原	甲状腺機能異常症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(3)-④-2
3	内分泌性疾患	石原	甲状腺機能異常症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(3)-④-2
4	内分泌性疾患	石原	副腎皮質機能異常症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(3)-④-3,5
5	内分泌性疾患	石原	副腎皮質機能異常症と尿崩症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(3)-④-3,4
6	遺伝性疾患	石原	代表的な遺伝性疾患をあげ、概説できる。	☆
7	血液・造血器の疾患	秋葉	造血機能を理解し、血液・造血器における代表的な疾患を挙げることができる。	C14-(2)-③-1
8	血液・造血器の疾患	秋葉	貧血の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-2
9	血液・造血器の疾患	秋葉	貧血の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-2
10	血液・造血器の疾患	秋葉	赤血球増多症と顆粒球減少症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-5
11	血液・造血器の疾患	秋葉	白血球の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-3
12	血液・造血器の疾患	秋葉	白血球の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-3
13	血液・造血器の疾患	秋葉	血小板異常症（紫斑病）の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-5
14	血液・造血器の疾患	秋葉	血液凝固異常症の原因、病態、治療薬について説明できる。	C14-(2)-③-4,5
15	総括・まとめ			

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 プリント配布		
参考書 疾病と病態生理（改訂第3版）	橋本隆男、佐藤隆司 編	南江堂

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績で評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

講義内容に関する質問がある場合には、あらかじめ各教員にメールにて在室を確認すること。なお、メールでの質問も受け付けます。

オフィスパワー：月・水・金の18:00～19:00

メールアドレス：秋葉：akiba@mb.kyoto-phu.ac.jp, 石原：ishihara@mb.kyoto-phu.ac.jp